

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表：令和 6 年 1 月 26 日

事業所名 Linkerノア 保護者等数（児童数）23 回収数 17 割合73.9 %

	チェック項目	はい	どちらともいえない		いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	いいえ				
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17						
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14	3			知らない	配置基準は児童10人に対してスタッフ4人配置していれば問題ありません。弊所は基本的に児童5人に対して4人のスタッフを配置するようにいたしております。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	7			・知らない ・事業所内は配慮されているが建物の階段の一段一段が高い	ご指摘のように階段に関しては一段あたりの高さが高い建物になっております。これまで10年未就学児も含め、階段から落ちた児童はおりませんが、引き続き配慮をするようにいたします。基本的に転倒しない様にスタッフがいる際は後ろに回るようにしております。	
適切な支援	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	15	2			面談の回数が少なく、連絡もアプリのみなのでよくわからない。	面談の回数が少ないとのご指摘ありがとうございます。面談に関しては弊所に増やしてまいりたいと思っており、保護者様からご意見いただき、改めて必要性を感じました。もちろん各ご家庭のご都合がおりますので、任意の形にさせていただこうと思っております。具体的な事が決まり次第ご報告させていただきます。連絡はアプリ以外にもお電話を差し上げる事はありますが、何か問題や気になる点があった際にご連絡差し上げるようにしております。現状がわかるような工夫を検討し保護者様との情報共有を深めたいと思っております。	
	5 <u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	15	2					

の提供	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	5	8			障害のない児童との交流は設けておりません。弊所は支援学校在籍の児童が現在2名のみなので、交流は学校で行って頂ければと思っております。障害の有無ではなく、「その子（児童）」と一緒に活動する事で正しい行動を学ぶことを基本としております。弊所在籍の児童は苦手な事はありますが、すべての事が苦手な訳ではありません。在籍児童同士でたくさんの事を学び合っており、放課後クラブや児童館との交流は残念ながらありませんが、それがなくても将来に繋がる環境を整えていきます。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	1				
保護者への説明等	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	2				
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	1	2			
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	8	5		特に親同士の支援と必要としていませんが、単純に保護者会はないのだと認識しております。	未就学児への活動は設けておりますが、就学児への活動は企画できておりません。今後、検討いたします。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	3				
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	1				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	4				
	14	個人情報に十分注意しているか	16	1				
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	4	2			このご意見が頂く事が多いですが、こちらの周知不足です。ホームページにマニュアルは掲示しておりますがそれが上手く伝わっていないので、新しい対策を早急に講じます。
非常時								

時 等 の 対 応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	9	2			これも15番と同様、定期的に実施しておりますが周知が徹底できておらず申し訳ございません。JAL機の乗員乗客全員生還のニュースを通して、日頃の訓練の大切さを再認識いたしました。来年度からは周知の改善だけでなく、頻度や実施方法などもさらに改善いたします。
	満 足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	14	3			・しぶる事は時々ありますが、行けば楽しんで帰ってきます。
18		事業所の支援に満足しているか	15	1	1		・利用日数が少ないため成長を感じにくい。 ・いつもありがとうございます。	利用日数が少なく弊所をご利用いただいた事による因果関係は現状わかりづらいとのこと指摘だと思います。配慮が足りず申し訳ございません。現在、成長や頑張りを数値化できる仕組みを作れないか試案しております。上手く行くかわかりませんが、これができれば保護者様のご指摘の改善に繋がると思います。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。